

米UPSフレイト

米国・カナダで時間指定を保証

■同社プレスリリース 6・2など

UPS傘下の積み合わせ輸送業者UPSフレイトは、米国・カナダ間で時間指定を保証するサービスを始める。一月に米国内で開始した時間指定保証サービスの適用範囲を拡大する。

対象となるのは米国四八州とカナダのカルガリー、モントリオール、トロント、バンクーバーなど九都市間の貨物。貨物が指定時間までに到着しなかった場合、顧客は料金の支払いを拒否できるという。

フエデックス

フランスとドイツでハブを拡充

■同社プレスリリース 6・3

フエデックス・エクスプレスは、欧州のハブ拠点を拡充する。フランスでパリのハブを拡張し、ドイツではフランクフルトからケルンにハブを移転する。需要拡大に対応し、ネットワークの強化を図る。

パリのシャルルドゴール空港のハブは、同社にとって米国外では最大規模の拠点。現在の延べ床面積四万九〇〇〇平方メートル、仕分け能力一時間当たり二万四〇〇〇個を、

延べ床面積七万二〇〇〇平方メートルに拡張し、一時間当たりの仕分け能力を三万一五〇〇個に引き上げる。拡張工事の竣工は二〇〇九年九月をめどとしている。

ケルンの新ハブは一〇年春の完成予定。敷地面積は五万平方メートル。一万六〇〇〇メートルの太陽電池用のパネルをはじめ込み、環境に配慮した拠点とする。

ドバイ・ワールド

ウォルマートの物流施設会社買収

■同社プレスリリース 6・9など

UAE（アラブ首長国連邦）のドバイ・ワールド子会社のエコノミック・ゾーンズ・ワールド（EZW）は、米ウォルマート傘下の物流不動産開発会社ゲーズリー（Gazley）を買収した。買収額は非公表だが、複数の報道によると三億ポンド（六三三億円）以上とみられる。

ゲーズリーは英国に本社を置き、欧州、中国、インド、メキシコなどに事業を拡大しているが、ウォルマートは本業の小売業に経営資源を集中させるため、今年三月に売却を決めていた。

ドバイ・ワールドはUAEの政府系ファンド。輸送・ロジスティクス部門をはじめ、港湾、海上輸送部門や都市開発部門、投資・財務サー

ビス部門などを擁する。

ドイツポスト

郵便自由化延期で蘭政府を提訴

■同社プレスリリース 6・11

ドイツポストは、オランダ政府が国内で郵便市場の自由化を延期したことについて、EUが進める自由化の原則に反しているとして欧州委員会に提訴した。

オランダ政府は今年一月、TNTが独占していた五〇グラム以下の郵便物の国内市場を自由化するとしていたが、それに先立ちドイツ政府が国内の郵便事業者に高水準の最低賃金を義務付ける法律を施行したことに反発し、オランダ国内の郵便市場の自由化を七月に延期していた。その後、七月の自由化を無期限延期したため、ドイツポストは提訴に踏み切った。

一方、TNTはドイツ政府を相手取り、ドイツ国内の最低賃金をTNTを含む外国の郵便事業者にも適用するのは違憲としてドイツの裁判所に訴え、勝訴した。ドイツ政府が上告したため、欧州委員会に提訴している。

仏ジオデイス・ウィルソン
英国のフォワードを買収

■同社プレスリリース 6・11

ジオデイス傘下のフォワード、ジオデイス・ウィルソンは、英国の海上・航空フォワードのオートレットド&ハリソン・シッピング（Ogthorpe & Harrison Shipping）を買収した。

オートレットド&ハリソン社の直近の売上高は三五〇万ポンド（七三億八五〇〇万円）。英国内に加え、ベルギーと中国に拠点を構える。従業員数は約一〇〇人、顧客数は一九〇〇社。

ジオデイス・ウィルソンのスチュアート・イン部長は「オートレットド&ハリソン社が持つ輸送業務における高い能力と、当社の輸入業務のノウハウを組み合わせることで相乗効果が期待できる」と語った。

ジオデイス・ウィルソンの母体はジオデイス・オーバーシーズ。TNTのフォワーディング部門、TNTフレイト・マネジメントとロード&リーセンフィールド社を買収している。

英ウィンカントン

TDGの買収計画を撤回

■同社プレスリリース 6・17

英国の3PL大手ウィンカントンは、同業のTDGの買収撤回を決めた。買収計画の発表後、TDGの財務内容を調査した結果、「買収計画を進めることはウィンカントンの株主にとって最高の利益にはならな

い」(ウインカントン)と判断した。

ウインカントンは五月、一株当たり二ポンド九〇ペンス(六一・九円)でTDG株を買い取る買収提案を行っていた。これは先に買収を仕掛けていたヘッジファンド、ラクシー・パートナーズ(Lacey Partners)の提案額を一株当たり一五ペンス上回る額だった。

デンマークDSV

ABXロジスティクスを買収

■同社プレスリリース 6・21

デンマークの大手物流業者DSVは、ベルギーの同業者ABXロジスティクス・ワールドワイドを七億五〇〇〇万ユーロ(一二五二億五〇〇万円)で買収する。イタリア、スペイン、ドイツ、フランスでの陸上輸送能力の向上を目指す。今後、ABXの株主の31(スリーアイ)グループと最終交渉を行う。

ABXはベルギー鉄道の傘下企業として一七四〇年代に創業。二〇〇五年に投資会社の31が買収した。〇七年度の売上高は一八億ユーロ(三〇〇六億円)、売上高営業利益率は一・七%だった。

一方、DSVの売上高は四七億ユーロ(七八四九億円)、売上高営業利益率は五・四%。DSVは、一年までにABXの利益率を自社と

同水準に引き上げる考え。

DBシエンカー

シーメンスとの合併を子会社化

■同社プレスリリース 6・24

ドイツ鉄道傘下のDBシエンカーは、ドイツの総合電気メーカー、シーメンスとの合併会社「シエンカー・インダストリアル・ロジスティクス」の株式を取得し、一〇〇%子会社とする。

シーメンス側が所有する株式四九%を買い取る。契約は今年一月一日に遡って有効となる。買収額は明らかにしていない。

シエンカー・インダストリアル・ロジスティクスは二〇〇三年に設立。ドイツを中心に欧州五カ国に三三カ所の物流センターと四〇カ所のデポを置き、ハイテク産業の荷主向けに3PL業務を提供してきた。サプライチェーンの構築からキットイング(簡易組み立て・加工)、生産ラインへの配送、クロスドッキング業務、返品処理などを行っている。従業員数は六五〇人。

TNTエクスプレス

東南アジアで航空貨物輸送を強化

■同社プレスリリース 6・26

TNTエクスプレスは、東南アジア

アでの貨物輸送サービスを拡充する。エクスプレス貨物よりも重量のある航空貨物を対象に、ドア・ツー・ドアで到着日を指定できるサービスを開始する。

新サービスは重量五〇〇キログラム以下の貨物を対象とする「エクスプレス・フレイト」、一五〇〇キログラム以下の「エコノミー・フレイト」、重量無制限の「フレイト・プラス」の三種類。

これは同社が今後五年間で東南アジアに一億ユーロ(二六七億円)を投資する計画の一環。アジアでのネットワークを強化し、陸上・航空ネットワークを活用する。複数の輸送モードを使いわけ、東南アジアと欧州間の航空貨物の取扱拡大を目指す。

ラクシー・パートナーズ

英TDGを買収

■トランスポート・インテリジェンス 6・30

英国のヘッジファンド、ラクシー・パートナーズは、TDGを一株当たり二ポンド五〇ペンス(五二七・五円)の買収価格で買収することを決めた。二月に提案していた二ポンド七五ペンス(五八〇・二五円)から提案額を引き下げた。ウインカントンの買収計画撤回が影響したとみられる。

ラクシーはまた、買収価格を一株

当たり二ポンド(四二二円)として、残りをTDGの株主が、ラクシーが設立し、ロンドン証券取引所新興企業向け市場(AIM)に上場する受け皿会社の株式として所有する、という案も提示している。

同社はTDGの年金制度の管財人を支援することを決めており、金融機関とも調整済みとしている。

エアバス

キューネナゲルとDHLを起用

■同社プレスリリース 6・30

エアバスは、リード・ロジスティクス・プロバイダーとしてキューネナゲルとDHLを選定した。欧州での物流再編に伴い、3PL業者二社を起用することで大幅なコスト削減を狙う。

エアバスは地域別に置いていた物流センターを廃止し、二〇一〇年をめどにドイツ、フランス、英国、スペインの四カ国六カ所のハブ・センターに集約する計画を進めている。

キューネナゲルは合計一五万平方メートル以上のハブで部品や仕掛け品の仕分け、在庫管理、生産ラインへの供給を行う。DHLは輸送管理システムを構築し、サプライヤーからの部品輸送の効率化を図る。二社による新業務体制への移行は九月から。

為替レート : 1ユーロ = 167円、1ドル = 105円、1ポンド = 211円